

事故報告書（概要書）

第 報

2026 年 1 月 13 日

工事番号	25-1-0025		報告者	永阪 宙樹		
部門、部署	建築本部	第一工事部	現場責任者名	永阪 宙樹		
現場名称	(仮称)トヨペット㈱大綱マイカーセンター建替他工事					
被害者情報	氏 名 [REDACTED] 氏		年 齢 歳	生年月日 年 月 日		
現住所			職種		連絡先	
勤務先 (所属会社)	会社名		所在地			
	TEL	[REDACTED]	雇入年月日	満 年	年 月 日	
契約関係	(一次) → (二次) → (三次)					
災害発生 年月日時	2026 年 1 月 10 日 13 時 30 分 頃					
傷害名			傷害・部位			
病院名			治療・休業・日数	休業日数	治療日数	
災害発生の実 確認者	氏名		所属 会社			
災害発生 の状況 (具体的に記入する)	・時系列で、事故発生の状況、警察・病院・監督署・発注者等への一次処置の内容 (いつ・どこで・なにが・どうして・どうなった)					
	日にち	時間軸	報告内容			
	10 日	13 : 30	水が抜けてしまっていたプラスチックフェンスの重しが強風により飛ばされ、			
		:	[REDACTED] の車へ接触。白い線状の傷が2か所(ドライブレコーダー有)			
		:	→修理工場からトヨペット様へ連絡した方が良いとのアドバイス			
		18 : 0	[REDACTED] →トヨペット様へ 電話にて状況報告			
		19 : 50	トヨペット [REDACTED] →京成へ メールにて状況報告			
		20 : 30	京成永阪→ [REDACTED] へ 電話にて状況確認			
		:	(詳細な対応については休日明けに追ってお伝えすると伝える)			
		:	京成永阪→鎌田部長へ ショートメールにて状況報告			
	11 日	16 : 20	トヨペット [REDACTED] →営業齋藤へ 現場ブラフェンスが倒れていると電話連絡			
		16 : 30	営業齋藤→永阪へ 電話にて状況確認後、現場へ向かう			
		18 : 50	永阪→営業星野へ 復旧完了の電話連絡			
		18 : 55	営業星野→トヨペット [REDACTED] へ 復旧完了の電話連絡			
	12 日	9 : 30	京成永阪→鎌田部長へ 電話にて状況報告 ”事故報告書速報”の提出指示を受ける			
		9 : 45	メールにて 事故報告書提出 鎌田 聴取後 13:40再提出			
		:	*フェンスの重りは別途写真あり、水を入れて使用するウェイト。ウェイトは場内(仮囲い			
		:	の内側)にあったものが強風で前面道路に飛散し接触したと思われる			
	13 日	10 : 0	永阪・営業星野 2名→トヨペット [REDACTED] へ トヨペット本社にて謝罪へ行く			
		:	(飛散物が車へ接触してしまったこと、ブラフェンスが倒れてしまったこと)			
	車両の傷は未確認、先方にはドライブレコーダーの記録があるとの事。10日の被害者連絡後トヨペット [REDACTED] に被害者とコンタクトした事を報告した。先方からは随時状況を報告するよう指示を受けた。					
	処 置 (連 絡)	※社内周知及び必要に応じて実施した警察・監督署・発注者等への二次処置の内容				
		施主・顧客	1/13(火) 千葉トヨペット [REDACTED] へ メールにて [REDACTED] との現状報告			
			→工事保険にて対応させていただき、[REDACTED] に必要項目(修理工場連絡先等)の確認中。			
社 内		建築本部 第一工事部 鎌田部長				
労災成立番号						

※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。
(重大事故における被災者家族対応・マスコミ対応等については、原則、本社管理部門と相談のうえ実施すること。)

状況写真・図面等(1)



状況写真・図面等(2)



原因	風散養生の管理が出来ていなかった。
再発防止対策	風散養生の徹底管理。